

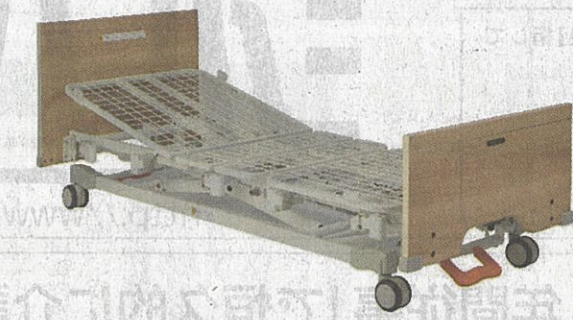
### パラマウントベッド 新社長に木村友彦専務



パラマウントベッドホールディングスとパラマウントベッドは2月27日、木村友彦専務が会長に返り、木村友彦専務が新社長に就任する人事を発表した。

「経営体制の変更により企業の活性化と社業の一層の飛躍を目指す」のが目的。パラマウントベッド現会長の木村憲司氏は相談役に退く。正式な就任は新年度の4月1日から。友彦氏は、憲司氏の長男で42歳。慶應義塾大学卒業後、2008年にパラマウントベッド入社。事業戦略本部副部長、執行役員国際事業本部長などを経て、15年6月より取締役、16年に常務取締役、19年6月から専務取締役。東京都出身。

### 「ペアーージュ」発売 透析患者の高齢化に対応



ブラッツ(福岡県大野城市、城雅宏社長)は、3月より透析室向け電動ベッド「ペアーージュ」(3モーター)を発売した。透析患者の高齢化や作業性など現場で求められているニーズに対応するため省スペース設計したほか、ベッドの上でのケアや移乗がしやすいのが特長。垂直昇降機能により全長210・5cm×全幅88cmの省スペースに設置が可能で、最高床面高も高めの73cmに対応。介助者の屈み作業を削減し、腰への負担軽減を実現した。透析患者の高齢化に対応し、立ち上がりや車いすへの移乗がしやすいベッド用グリップを使用できるようにしたほか、ヘッド側と足側のセンターペダルでキャスターの一括ロック操作も可能。キャスター径も10cmと移動しやすい。充電式バッテリー(2万4000円/税抜)も設定。価格は50万円(税抜)。問合せは同社(092・584・3433)まで。

### 次代の介護経営担う研修など充実



「民間介護事業者の質を協議会略称『民介協』を高める」全国介護事業(佐藤優治理事長)では、9回目となる研修会では、経営改善に直結する実践的な内容へプログラムを一新。2040年を見据えた介護保険制度や人材不足などの課題に対応するために、制度面だけでなく、財務・管理会計やマーケティング、人事・労務管理、事業戦略など幅広い領域に渡る深い知識を学べる内容になっている。

### 伸こう会グループ 新事業「ホームインステッド・ジャパン」開始

伸こう会(神奈川県藤沢市、片山ます江代表)は、米国のホームインステッド社とマスターフランチャイズ契約を結び、「ホームインステッド・ジャパン」(足立聖子代表)伸こう福祉理事長として3月上旬より公的介護保険適用外の在宅支援サービス提供を開始する。伸こう会グループは、神奈川県に50の高齢者施設、身体障がい者施設、保育園などを運営する福祉事業者の老舗。一方、伸こう会グループは、伸こう福祉理事長として3月上旬より公的介護保険適用外の在宅支援サービス提供を開始する。「ホームインステッド・ジャパン」では、公的介護保険の対象外の高齢者施設、身体障がい者施設、保育園などを運営する福祉事業者の老舗。一方、伸こう会グループは、伸こう福祉理事長として3月上旬より公的介護保険適用外の在宅支援サービス提供を開始する。

### 「快眠」軸に健康増進サービス開始



西川(東京都中央区、西川八行社長)は3月2日、大阪府箕面市の介護用品ショップ「ネーブハウス箕面店」を、アールハウス箕面店を、アールハウス(神戸市、廣田康人社長)の機能訓練特化型サービス併設型ショップ「ネーブハウス」にリニューアルオープンした。ショップとオンラインで、快眠をテーマにした新たな健康増進サービスも提供する。フロアに配した、トライアスは午前・午後2部制で各定員25人、おもに要介護2までの利用者を選定する。アシックス独自のトレーニングプログラムに基づいて、生活目標の実現へ向け、頭と身体の両面を活性化させる運動メニューを提供し、機能改善や重度化防止を図る。このほか、歩行器、靴などが、これまで兵庫県内5カ所で行われていた、今大阪に初出展し、今回大阪に初出展となる。2階はネーブハウス店舗で、売場には電動介護ベッドや車いすなどの商品展示数を誇る。靴売場には、アシックスとNECソリューションイアスは午前・午後2部制で各定員25人、おもに要介護2までの利用者を選定する。アシックス独自のトレーニングプログラムに基づいて、生活目標の実現へ向け、頭と身体両面を活性化させる運動メニューを提供し、機能改善や重度化防止を図る。このほか、歩行器、靴などが、これまで兵庫県内5カ所で行われていた、今大阪に初出展し、今回大阪に初出展となる。2階はネーブハウス店舗で、売場には電動介護ベッドや車いすなどの商品展示数を誇る。靴売場には、アシックスとNECソリューションイアスは午前・午後2部制で各定員25人、おもに要介護2までの利用者を選定する。

### サンメディカル 大村千亜紀 社長



1971年10月4日生まれ(48歳)。90年岩手県立盛岡第一高校卒業。95年に首都大学東京経済学部を卒業し、同年渡米。04年カリフォルニア・ポリテクニク州立大学生物化学学部卒業。05年にボストン大学生物医学博士課程を中退し、同年入社。

### 新社長登場

## 自立型人材育成で最良サービスめざす

今年1月にサンメディカル(岩手県盛岡市)社長に就任した大村千亜紀社長が、約10年間のアメリカ生活を経て、同社に入社したのは、2005年2月、34歳の時だった。仕事はほぼ総務畑で、介護現場を直接には経験していないが、行政への書類づくりなどを担ったことから制度理解や行政対応はしっかり身につけてきた。大村氏は、会長の長女として、05年9月に取締役、14年に副社長、20年1月に社長に就任した。会社全体を見渡し、人の確保や業務のあり方がいかに大切かを学んでいる。社長になって思うのは、0人。18年には、今後の人口動向を見据えて、子会社の東京サンメディカルを設立し、東京進出を果たした。19年には介護事業所「えるはあと」(東京都目黒区、年商約1億円)をM&Aした。このほか、都の「居宅介護支援事業所」訪問看護、「福わら」(秋田県横手市、ショートステイ2事業所、グループホーム2事業所、小規模多機能事業所、居宅介護支援事業所、ホームレス福祉用具)を運営する。女性だけのジム「カーンス」の運営は、12年目に入った。自ら主体的に判断できる人材の育成に力を入れている。大村社長は、入社まで約10年間、アメリカ留学をした。大学での勉強はおもしろく、初めは政治に関心があつたが、バイオテクノロジーに興味をもつようになり、大村会長から少くも身家の家業を継ぐことになる。大村社長は、入社まで約10年間、アメリカ留学をした。大学での勉強はおもしろく、初めは政治に関心があつたが、バイオテクノロジーに興味をもつようになり、大村会長から少くも身家の家業を継ぐことになる。

### レンタル軸に多角経営

も全社で心掛けてきたことである。事業所は、岩手県を中心に宮城県、秋田県、青森県にまたがる。レンタル・販売・住宅改修だけでなく、車いすのオーダーメイドも手掛けている。居宅介護支援2事業所と、認知症ケア2事業所、グループホーム1事業所、訪問介護1事業所、有料老人ホーム3事業所も運営。従業員数は20